

# 地域情報

コロナウイルスの影響により、掲載のイベントは中止になる可能性があります。開催状況や来館時マスク着用などの注意事項を主催者にご確認の上、ご参加ください。

## さわやかちば県民プラザ

☎7140-8600 月曜休所

### ●プログラミング学習会

3/27(日)①10:00～12:00、②13:00～15:00、toioプログラミング、各回6人、無料(室料別途300円)、当日受付、先着順

### ●県立柏の葉公園

事務所 ☎7134-2015

### ●ボート営業中

3月～11月土日祝運行、9:30～16:00受付、30分320円、混雑時整理券配布、3/25(金)・28(月)・30(水)・31(木)も営業

### ●Dogフェスタ

3/19(土)・20(日) 10:00～15:00、わんわんゲーム大会、ドッグカフェ、愛犬のぬいぐるみ製作などのグッズ販売店出店

### ●ストレッチング講習会

3/23(水)14:00～15:30、30人、210円、要申込、体育館 ☎7134-3500

### ●柏の葉ウォーキングクラブ

体育館前 当日9:00受付、☎090-8499-5454

### ①ノルディックウォーク体験会

3/22(火)、500円、ポールレンタル別途100円

### ②ウォーキング教室

4/5(火)、5km、200円、

### ③柏の葉健康コース

4/13(水)、柏北部の姫宮神社を訪ねる(10km)、200円

# 江戸川台・運河の地域情報・紙面の感想を募集中

お知らせやメッセージ(非営利)を無料で掲載します。ご希望の方は、内容・連絡先を明記し、前月25日までに右記宛先へお寄せください。紙面の感想もお待ちしています。

当店HPではカラー版をご覧いただけます

〒270-0103 流山市美原4-1212-4 ASA江戸川台・運河店 グッド・モーニング編集室 TEL.7156-2539

QRコード



## ●緑の講習会 ハンギングバスケット(夏秋版) 5/19(木)13:30～15:30、24人、300円要申込、☎4/5～受付

## ●まちの健康研究所あした

☎7197-7713 さらば一と柏の葉北館3階、無料(要登録)、申込不要(入場制限あり)、★食ミニ講座

## 「春キャベツ」3/15(火)14:00～14:30、

## 大瀬由生子氏、★美容アドバイス「前半:

## ヘッドマッサージ&後半:春のスキンケア」

3/18(金)、前半10:30～、後半12:00～13:30、瀬川未来氏、★寒さで硬くなってしまった僧帽筋をほぐしましょう 3/18(金)・23(水)14:00～15:00、野村志津江氏

## ●柏の葉T-SITE

☎7197-1400

## ●宇和島ウィーク 開催中～3/21(月・祝)

10:00～18:00、マルシェ開催、★宇和島かるたで遊ぼう キッズスペース、無料、★みかんジュース蛇口体験 期間中土日祝、2000円以上お買い上げの方先着100人、

## ●パン祭り 3/19(土)・20(日)10:00～16:00、

近隣から関東近郊の人気店30店大集結、子ども陶芸体験(2500円、要申込)

## ●北部公民館

☎7153-0567

## ●スクエアステップ&ストレッチ(月2回)

4/4(月)・18(月)13:00～14:30、20人、1000円(2回分)、☎受付中、先着順

## ●かんたんハンドメイド「フェルトで作る野菜」4/6(水)13:00～15:00、10人、500円、☎3/21(月)9:00～受付、先着順

## ●はじめてのヨガ(月2回)

4/8(金)・22(金)13:00～14:00、20人、1000円(2回分)、☎受付中、先着順

## ●森の図書館

☎7152-3200 月曜(祝日の場合は翌日)休館

## ●プラレールひろば 4/9(土)①13:00～14:00、②14:20～15:20、各回10組、無料、おもちゃ病院同時開催(予約不要)、☎4/2(土)10:00～電話受付

## ●教養講座「おばさん四十八歳小説家になりました」4/16(土)14:00～15:30、

歴史文学賞などを受賞している植松三十里さんが作家への道のりを講演、40人、300円、☎3/23(水)10:00～電話受付

## ●絵本で育て、コミュニケーションのヒント 4/24(日)10:00～11:30、子どもの年齢に合わせた本の紹介など、20組、1組300円、☎3/24(木)10:00～電話受付

## ●おもちゃ病院

☎070-8315-3330

## ★ひまわり幼稚園 3/19(土)9:00～11:30、

## ★県民プラザ 4/2(土)13:00～15:30、

## ★森の図書館(プラレールひろばあり) 4/9(土)詳細同館参照



# 3体のビリケンさんに会える 朝市でクイズラリー開催



3月26日の朝市の日は利根運河に3体のビリケンさんが集合

二代目利根運河ビリケンさんが利根運河にやってくる3月25日1周年になるのを祝い、3月21日(月・祝)～4月17日(日)運河駅ギャラリーで「ビリケンさんと利根運河の桜展」が開催されます。利根運河の桜のおすめ散策コースと写真

を展示し、ビリケンさんにまつわるエピソードなどを紹介。期間中は利根運河交流館に出張ビリケンさんがお祝いに駆けつけます。また、3月26日(土)9時～12時に運河水辺公園で行われる「うんがいい!朝市」会場には出張ビリケンさんに加え、金色ビリケンさんも登場。「この日は一粒万倍日などの招福日でもあり、自分のぬいぐるみとビリケンさんで足裏合わせをして幸福を持ち帰ってほしい」と若松文館長。ビリケンさんと写真を撮ったり、クイズラリーも楽しめます。☎同館 ☎7153-8555



約650品目を販売。取り扱い希望商品の相談も可能

## 移動スーパー巡回日時

●月・木曜日	
浄観寺	10:30
美原自治会館	10:55
ハイムガーデン流山美原二番館	11:15
●火曜日	
江戸川河川事務所運河出張所	10:30
市営住宅大橋団地	10:55
さんらぶ東深井	11:20
森の倶楽部	11:45
●水曜日	
平方自治会館	10:30
平方2号公園隣	10:50
江戸川台小田急ハイツ	11:10
北1号公園	11:35



江戸川台駅東口周辺地区再整備事業の一環として2月9日、道路の新しい使い方を考えるワークショップ「みちで何しよう?」が商店街の「ふれあいホール」にて行われました。

前半は東京理科大学の伊藤香織教授が、街を知るなど5つのテーマで講演。世界や日本で行われた見学ツアー

や植物で街を彩る取り組みなどの事例を紹介しました。後半は参加者が道路でやりたいアイデアを発表。直線道路を活かした綱引きやかけっこ、ファッシュンショーから、ベトナムを並べて修学旅行や干し柿作りなどユニークなものまで、様々な意見が飛び交いました。5月には、商店街の道路を車両通行止めにして椅子や机を並べる実証実験を実施予定。道路を楽しく使う仕組みを作り、地区の賑わい創出しようと、ふれあいマルシェや夜市も計画されています。☎まちづくり推進課 ☎7150-6090

# 流山市に移動スーパー誕生 買い物支援で地域を笑顔に

昨年12月より、市内を移動スーパーが巡回。軽快な音楽を流しながら到着すると、買い物客が次々と集まります。流山市と(株)カスミが「地域の見守りと買い物支援活動推進に関する協定書」を締結したことで実現。軽トラック車両の移動スーパーは、側面と後方部分の

3面が売り場に早変わりし、お弁当やパン、お菓子をはじめ、肉や魚、牛乳などを販売しています。「牛乳などの重い物はこちらで購入しています。住人同士の交流の場にもなっていて、利用するのが毎週楽しみです」と70代の女性。

市内28カ所の地域を週1～2回の頻度で巡回している、巡回場所は今後も拡大される予定です。支払いは、現金のほか、クレジットカードやカスミカード、W A O Nカードなども利用できます。レジ袋は有料。ぜひ一度利用してみてください。☎フードスクエアカスミ柏中新宿店 ☎7170-5600

# イーストリートプロジェクト始動 東口の道路を楽しい空間に

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業の一環として2月9日、道路の新しい使い方を考えるワークショップ「みちで何しよう?」が商店街の「ふれあいホール」にて行われました。前半は東京理科大学の伊藤香織教授が、街を知るなど5つのテーマで講演。世界や日本で行われた見学ツアー

## わがまち・ふるさと再発見!

### 「流山のむかしを訪ねて」

③ 縄文時代2 定住する縄文人 案内役 田村哲三

前号では、縄文時代は温暖化によって海水面上昇や樹木の変化があり、食料事情が好転したことを書きました。では、当時の流山市はどうであったのでしょうか。

市内にある140カ所ほどある縄文遺跡のほとんどが低地に接する台地の縁から発見されています。なぜこのような地に遺跡が集中しているのでしょうか。

現在、市内の低地の標高は5m前後。火山灰や土砂の流入、埋め立てなどで嵩上げされているので、縄文時代はかなりの低地であったと思われれます。そこに約5mの海面上昇です。現在の低地は水深の浅い海になっていました。流山市の低地部を示す図では、蜘蛛の巣のように台地部に入り込んでいるのが分かります。これは海進によって台地部の軟弱地帯が削られ、また、低地部であったところが埋没して海になったのです。台地の奥は入江となり、深い浅い波の静かな海になり、ハマグリや巻貝などの貝や魚がとれました。また、台地部では広葉樹林などの樹木に置き換わったことで、クリやドングリなどの木の実が採れ、それを食べる獣の狩猟も容易になりました。海に向かう傾斜地には湧き水も出ますから、海と台地の接した所は絶好の住居地でした。このことか

ら、台地の縁は、縄文人にとって生活するのに最も便利な場所だったことが考えられ、遺跡が集中して発見されたと思われる。

食料が常に確保できるようになると、旧石器人のように獲物を求めて移動する必要もありません。人々は食料や水の得やすい所に定住するようになり、食料を得るには大勢で協力する方が有利ですから、次第に集落をつくるようになりました。さらに、収穫した食料を煮炊きする器、保存するための壺なども必要になり、いろいろな土器を作りました。土器づくりはやがて埴輪や土偶などへ発展しました。

集団で生活することで、祭祀や信仰も生まれました。祭祀に使われると思われる石棒なども発見されています。食べた貝の殻を捨てた場所が貝塚です。市内でも幾つかの大きな集落跡や貝塚が発見されています。次回では、それらの大集落跡についてご案内いたします。

流山の地形図 (出典:流山市立博物館)

石棒(江戸川台4丁目)